

Account Master for LDAP

アカウントマスター

すべてのアカウントをスッキリ一元管理。

複雑化するシステムやネットワークではユーザーの権限を正しく管理することが、システム全体を効率よく運用するための重要なポイントとなります。多くの場合、OSやベンダーの異なるいくつものサービスで構成されるネットワークでは、アカウントの管理スキームやシステム運用がまるでスパゲティのようからまる危険性をはらんでいます。アカウントマスターは多様化するシステムにおけるユーザー権限を一元的に管理するシステムです。スパゲティになる前にぜひ導入のご検討を。

アカウントマスターシステム構成

アカウントマスター

システムやサービスによって異なるアカウントの一元管理を実現するのがアカウントマスターです。



AM_DB

認証に必要なアカウント権限はすべてアカウントマスターが管理し、リソースへのアクセスを最適化します。

既存システムからの移行はデータをインポートすることによって実現できます。

既存のデータベース

学籍情報

システムアカウント

サービスアカウント

基本的な学籍情報以外にシステムやサービスごとのアカウントが存在しています。管理業務の効率が良いとは言えない状態です。

構内ネットワーク

構内端末

持ち込み PC

携帯電話

掲示板システム

アカウントマスターや出欠管理システムと連携して、学内の電子掲示板にメッセージを表示させたり、個別アカウント(メールアドレス)に対してメールを送信するシステムです。

出欠管理システム

携帯電話や ICカードを使って管理エリアへの入室を管理します。学籍情報、履修情報、授業スケジュール等と連携して出欠状況をリアルタイムに管理することができます。アカウントマスターと連携するとネットワークリソースへのアクセスも最適化することができます。

アカウントマスター未導入の場合でも出欠管理システムを既存データベースに接続して利用することができます。

様々なアカウント管理に柔軟対応

アカウントマスターはOSが混在するシステムでもアカウントを一元管理可能です。Windows Linux MacOSなど多様なOSとクライアントが混在するネットワークでもアカウントを統合的に管理できます。

安全の確保とアクセシビリティの向上

アカウント管理の一元化は、個人情報の安全な管理 運用のためにも有効です。アカウントを正確に把握することで、リソースの利用効率を向上させることもできます。

既存のアカウント管理サービスとの互換性

アカウント管理の核となるLDAPサーバは、既に稼動している他ベンダーのLDAPとの互換性を保っています。

OpenLDAP, ActiveDirectory等との互換性を保っています。

システムの安全性

アカウントマスターと各クライアント間の通信経路ではすべての情報が暗号化され機密性を保ちます。クライアントPK認証もオプションで可能になります。

アカウントマスターの機能

基本情報管理

基本情報設定
基本アカウント処理
データ保守

利用者管理

パスワード変更
アカウント情報変更
更新処理

システム管理

Logiサービス
アカウント表示
UNIX情報変更
履歴情報表示
更新処理
エクスポート
管理者設定
認証局設定オプション

クライアント管理

各種OSからのログイン管理

出欠管理

出欠管理サブシステム
電子錠連動システム

掲示板システム

メッセージ送信
メッセージ表示

その他

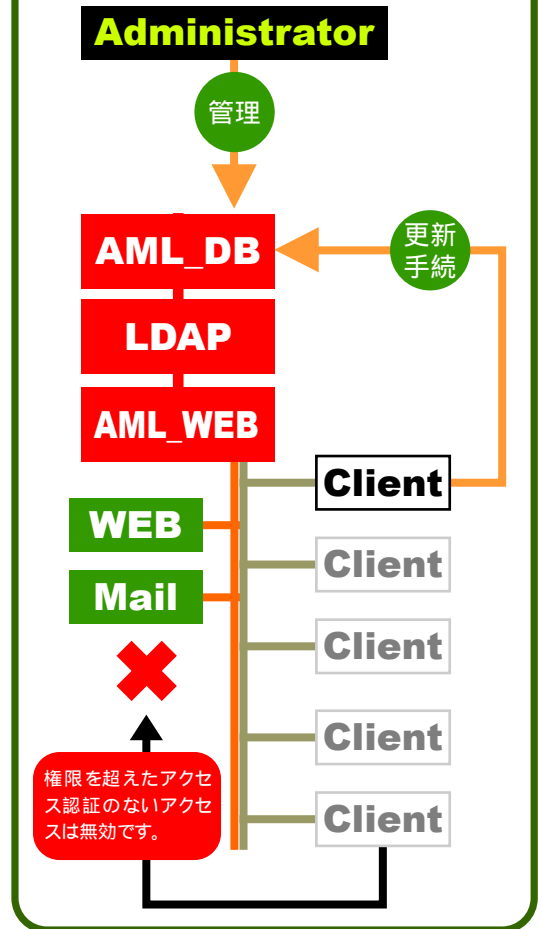
ActiveDirectory
NS
NetApp

■ 標準機能 ■ オプション

管理可能なアカウント

UNIXユーザー
UNIX Solarisなど
Windowsアカウント
2003 Server, XP Professional,
Vista Business, Windows 7 Enterpriseなど
Macアカウント (MacOS X)
WEBユーザー (Apache)
その他アプリケーション、サービスなどのアカウント

システムの概略図



動作条件

AML_Web

ハードウェア
CPU:インテル Xeonプロセッサ 2GHz 2以上
メモリ:4GB以上
HDD:15GB以上 (SAS)

対応OS
Linux (RedHat ES4)以上
Linux (CentOS4)以上

AML_DB

ソフトウェア
Apache 2.0以上 (SSI対応版)
MySQL 4.0以上

LDAP

ハードウェア
CPU:インテル Xeonプロセッサ 2GHz 2以上
メモリ:4GB以上
HDD:15GB以上 (SAS)

ソフトウェア
OpenLDAP 2.3以上

Windows Serverは、別途ご相談ください。
AML_WebとAML_DBを、別々のハードウェアで構成することも可能です。別途ご相談ください。

株式会社コムネット

COMputer & COMmunication NETwork

開発 販売 株式会社コムネット
福岡市中央区赤坂 3丁目 1-13
Phone 092(752)6140
http://www.dbcam.co.jp/